

## 観 測 帳

花山天文臺 中 村 要

不景氣で仕様のなかつた彗星に二つ報告が舞ひ込んだ。

**エンケ彗星** 一月から丁度太陽と追ひかけごつこをやつて居て何時も日没に見えるか見えないか許りの極どい位置にあつたので一月以來數回自分でも探したが見える位置に來なかつたエンケ彗星は六月二十三日に南米コルドバの Bobone 氏が寫眞で発見した由である。6月23日22時23.2分に赤經7時35.4分赤緯北8°22′(9等)であつた。北半球からは観測出來ない位置なので南半球からは緯度の異ふ爲に地平線が傾くので見える。但し東京の神田氏によつてエンケ彗星の観測か否か疑はしいとの事であるが、南に進むと南半球では可なり容易に見える筈だから眞偽が判明するだらう。(後報確められた)

**永田彗星** 在米の永田増治氏が僅か3時の小望遠鏡で7月17日

10時41分 北9°48′

に発見された彗星の電報は23日に自分の耳に入つた。同日夕珍らしく晴れさうなので眼視寫眞共に30センチで観測の準備をととのへて日没後間もなく獅子座ローをファインダーで探し宛て。雲の切れ間から13センチ Comet-seeker で探すと案外やさしく見當つた。時に午後8時40分なので早速30センチで持ち當て、この様な極どい仕事に便利な16センチ F3 鏡で6分間露出し、終ると直ちに同じ視野にあつた8等星を使つて大急ぎで測微観測を終つた。最後の測定には殆んど彗星が見えない位に山際近くに接近して居た。発見電報には運動の方向及び光度がなかつたのであるから日没後僅かの時間に探さなく

てはならぬのであるから骨の折れる仕事なのであるが、割合に容易に観測出來た。

7月23日 午後9時

赤經11時3.4分 北10°8′ 7等

即ち東に約一度づゝ動いたのである。9月27日に軌道と推算の電報が來た。近日點を6月末に通つて居るから今後淡くなるが2箇月位は西天に見えるだらう。

**小遊星 130 エレクトラ** 130 Elektra は9月23日に衝になる。光度は9.4等で赤緯の運動が大きい。1873年に米國 Clinton の C. H. F. Peters が発見した小遊星で軌道面の傾斜は22°であるから可なり大きい。推算は1925年分點で

9月8日赤經0時 6.8分赤緯—17° 0′

16 0 2.4 —18 58

24 23 57.5 —20 44

**花山五號**。去る6月8日南天が割合によく晴れて居たので 58 Oph を中心にして撮影した小遊星寫眞觀測の原板を翌日調べて居ると乾板の端で(245) Vera を探す時にふと大きな小遊星(11.8等)の像が見當つた。Vera の光度は13.0であるので全く別のものとして Kwasan 5 として測微観測を續けた。外國では Vera として扱つて居るが京都で計算した軌道も可なり異ふし、光度の差が余り大きいので長く觀測して軌道で確めねば Vera かどうか分らないだらう。

**10センチ赤道儀** 一昨年神戸射場氏が西村製作所に製作させられた10センチ赤道儀は不用になつて一時自分の所有物になつたが7月長野縣小縣郡青木村沓掛七二氏の手に移つた。